

○ 昭和四三年度総会は六月九日（日）、荷揚町林業会館一ホールで開かれました。

研究発表

日出地方の先縄文時代について

佐藤 暁氏

文祿検地における臼杵町屋敷と石盛

佐藤 満洋氏

日出湊の問

野口 喜久雄氏

地租改正と林野の地積について

勝目 忍氏

高崎山の道標について

立川 輝信氏

大野川・芹川流域地方の歴史と観光開発

兼子 俊一氏

公開講演

豊後大神一族高田次郎隆澄について

富来 隆氏

分県の歴史と文化」出版に協力、(7)その他でした。両議案とも異議なく承認され、めでたく終了いたしました。

○ 中野幡能氏学位取得祝賀会

中野幡能氏がさきに刊行された大著「八幡信仰史の研究」(吉川

弘文館刊)で、文学博士の学位をうけられたのを祝って、祝賀会が

六月九日、四三年度総会終了後、大分駅前第一生命ビル内、レスト

ラン ニュー大分で開かれました。約四〇名の参加者が氏の業績を

たぐえ、盛会裡に散会しました。

○ 古文書解読講習会

七月二十九日・三〇日の両日、県立図書館主催で、初歩的な史料解

読能力を養成するという趣旨の講習会が開かれました。講師は本会

々員の富来隆氏でした。

編集後記

総会では、昭和四三年度会計報告ならびに事業報告があり、それぞれ承認されました。ついで、四三年度予算案と事業計画が審議されま

した。予算案は総額四万余円。事業計画は(1)講演会・研究会の開催

(2)機関誌の刊行(五〇―五三号)、(3)大分県地方史料双書の刊行、(4)

実地見学旅行の実施、(5)文化財・庶民史料の調査保存に協力、(6)「大

五一号をお届けします。本号には五編の論稿を収めました。

巻頭の長谷川哲郎氏の「大分県を中心に調査した柔術」揚心流に

ついては、わが国の講道館柔道の根本理念の形成に強い影響を与え

た揚心流の文献と資料を広く調査・研究し、武術としての揚心流の特

徴を論じたものである。

次の可見雄二郎氏の「山内流の起源とその推移について」は、水泳の山内流が臼杵に伝えられた事情と、今日に至る迄の發展の状態を述べたものである。

第三の佐藤満洋氏「文祿検地における臼杵町屋敷と石盛」は、氏の「太閤検地における村位別石盛制」の研究の一部であつて、臼杵町屋敷の石盛の上下は、それぞれの立地条件等の良否に一致していること、そしてそれは、文祿検地における「村位別石盛制」に基づくものであることを明らかにしている。

四の野口喜久雄氏の「豊後日出湊の間」は、日出湊の間の發生の事情とその江戸時代における變遷をのべたものである。

最後の染矢多喜雄氏「大野郡楽員会」は、県内でもとくに岩戸神楽の盛行地域である大野郡の、岩戸神楽を支えて来たものとしての楽員会の組織・機能を紹介したものである。氏の民俗学への情熱と、その精力的な研究活動はあまねく知られているところであるが、今、またここに新たなページを加えられた。

以上の論稿はいずれも、地域社会の歴史を明らかにすることによつて、地域社会のよりよき發展の礎となるものと信じています。

なお、本号は「武道史特集」をもくろんだのですが、柔術と水泳と

に関する二編だけしかいたさげず、特集号は実現できませんでした。(N)

昭和四十三年十一月二十日印刷
昭和四十三年十一月二十五日発行

編集人 中野 幡 能

発行人 渡 辺 澄 夫

印刷人 高 井 久 雄

大分市上野町七番二十五号

印刷所 三恵印刷株式会社

電話⑤〇一二三番

大分市旦ノ原

大分大学教育学部国史研究室内

発行所 大分県地方史研究会

(振替下関五二九四番)